

夜間睡眠中の人工透析 オーバーナイト透析

前号に続き、兵庫県宝塚市で、長時間透析とオーバーナイト透析を実施されている、馬殿(ぼでん)院長先生にお話を伺いました。

医療法人 回生会 宝塚病院 院長 馬殿 正人先生



【ぼでん まさと】
1975年関西医科大学卒業、同大学付属病院第2内科入局。1984年関西医科大学付属病院第2内科助手、1985年医療法人回生会宝塚病院内科 2009年同院長、2017年理事長(兼任)

いよいよオーバーナイト透析実施ですね。環境整備などは、どのように整えられたのでしょうか？

フルタイムで働いている患者さんの透析時間を確保するため、就寝時間を利用したオーバーナイト透析の実施を決定し、そのための体制整備をしなければなりません。まず、場所の確保と整備です。2フロアに分かれた透析室の一方(チェア式に変更したとは別のスペース)を個室に改装し10床、残りのスペースをカーテンで仕切りし10床の計20床をオーバーナイト透析実施のための場所として用意しました。

個室には監視用のカメラを設置、漏血センサーも取り付けました。就寝時間に透析を実施することから、「少しでも眠りやすく」そして「安全に配慮」した空間とす

ることを心がけました。

次に、看護体制です。夜間に透析を実施することは、当然、看護対象時間が増加します。スタッフの負担が増加することは避けがたい事実です。長時間透析の実施と、その延長線上にあるオーバーナイト透析。その意義と必要性についてじっくりスタッフと話し合い、理解を求めました。当院のモットーである「患者さんに寄り添う」姿勢、そして「透析患者さんが元気で長生きしてもらうことが1番」ということを、共通認識としてスタートしました。

オーバーナイト透析を実施して、患者さんの変化はあったのでしょうか？

オーバーナイト透析を実施している患者さんの多くは、徐々に体重(ドライウエイト)が増えており、食べる量が増えているようです。長時間透析によって、充分透析することで「食事が美味しくなった」という、喜びの声を聞くことが多いです。しっかりと透析をすることで、尿毒素の除去が大きく



↑カーテンで仕切ったフロア

↑個室に改装したオーバーナイト透析フロア

なっていることも影響しているのかもかもしれません。「しっかりと食べて、しっかりと透析」の好ましいパターンになってきているのではないかと思います。とはいえ、透析生活の基本は自己管理です。あまり食事内容が「緩みすぎない」ようにしっかりとチェックしています。当院は基本的に、オーバーナイト透析の対象者は「フルタイムで働いていること」として、本当に仕事をされるうえで喜んでもらっています。皆さん、とても活動的で、今の時期だと仕事で汗だくになって来院されることもあります。そういう方には、仕事で掻いた汗を、院内のシャワーを使ってもらいさっぱりしてから透析に入ってもらいます。

また、患者さん側に身体的な問題がある場合は、事前にチェックしオーバーナイト透析は行っていないです。

オーバーナイト透析は、透析実施時間が昼間、準夜から、夜間(夜中)に変わり睡眠中に行うというだけで、透析方法などは、何ら変わりません。時間帯の変化以外、特別な治療を行っているわけではないのです。様子をみていると、時間をかけてゆつくり透析することで、不均衡や大きなトラブルはほとんど起こっていません。

オーバーナイト透析で、働ける喜びと、食事を美味しく食べられる喜びを感じていただいているのではないのでしょうか。

今後、オーバーナイト透析の受け入れを拡大する予定などはあるのでしょうか？

当院は月、水、金のオーバーナイト透析を実施しておりますが、満床となり、オーバーナイトのニーズに対応して令和元年9月より、火、木、土のオーバーナイト透析を開始いたしました。今後は個々の患者さんの詳細をみて、透析条件を決定していかなければと考えています。

これからも、ヒューマン・ケア(こころのふれあいを大切に、いのちのぬくもり、まもりたい。)の精神を持って、

地域医療への貢献を目指し、常に皆様方に満足していただける質の高い、安心ある医療を提供していきたいと思っております。

2回に渡った長時間透析、オーバーナイト透析のお話、ありがとうございました。宝塚病院の特徴である「専門チームが、病気を抱えながら生きる患者さんの生活をサポートする」という体制は、とても心強いですね！

また、透析治療の1つの選択肢として、さまざまな透析方法を知っておくことは、とても大切な事だと思います。透析が人生の足かせとならず、充実した透析ライフを送っていただく。これは、ベータ食品のスタッフも、切に願っていることでもあります。

馬殿院長先生、貴重なお話、ありがとうございました。

オーバーナイト透析の現状

実施曜日	定員	現利用者	開始時間
月・水・金	20名	17名	20時～22時
火・木・土	20名	8名	20時半～22時半

※共通事項・・・8時間透析

★オーバーナイト透析 患者さんの声★

私は、5時間透析からオーバーナイト透析に移行しました。移行したメリットとしては、食事制限がほとんどなくなり、透析時間が5時間から8時間伸びた事で透析後の体調が明らかに楽になりました。また、夜間就寝時に透析を行える事で、今までできなかった、通常の業務時間に仕事ができるようになった事が大きな変化となりました。次は、在宅透析に向けての訓練中です。オーバーナイト透析は、長時間透析のメリットだけでなく、社会復帰する為の、良い選択肢だと感じています。

「だいにんぐカフェFujita」オーナーシェフ 藤田様



回生会宝塚病院
兵庫県宝塚市野上2-1-2
TEL 0797-71-3111